

## cappellini (カッペリーニ)

- ・イタリアのインテリアブランド
- ・設立年：1946年
- ・設立者：Enrico Cappellini (エンリコ・カッペリーニ)  
2代目：Giulio Cappellini (ジュリオ・カッペリーニ)
- ・特徴：シンプルモダン
- ・日本正規輸入店：TEAM IWAKIRI PRODUCTS

▶cappellini ショールーム

▶cappellini 公式サイト

- ・主なデザイナー：  
Tom Dixon (トム・ディクソン)  
Jasper Morrison (ジャスパー・モリソン)  
倉俣史朗 etc
- ・主な有名作品：  
Proust Armchair  
S-chair  
Thinking Man's Chair etc

## ◆簡易歴史

1946年、1代目 Enrico Cappellini が、北イタリアの MEDA に木工家具メーカーとして創業。

1977年ごろから、2代目 Giulio Cappellini (ジュリオ・カッペリーニ) がディレクターとして指揮を取り、その後1979年に、正式に Giulio Cappellini が2代目として引き継いだ。

それまで cappellini は、自社デザインの家具の製造にこだわってきたが、Giulio は社の方針を一変し、社外のデザイナーと組み、数々のデザイナーズ家具を発表していった。

それらが業界の注目を集め、cappellini はイタリアを代表する「デザイナー家具ブランド」に成長していった。

特に Giulio は、若手デザイナーの才能を買い、大きく育てた者と言われており、ジャスパーモリソンや、Tom Dixon, マルセルワンダーといった、今や世界的に著名なデザイナー達も、ここで成長していったといっても過言ではない。

80年代から順調に成長していった cappellini だが、2000年代初頭から財政難に陥った。この背景には、17年間 Giulio の元で、兄弟のように働いていた者が、2年で約24万ユーロもの大金を、カジノなどにつぎ込んだことが、1つの要因にあると Giulio は語っている。

財政難から立ち直ることのなかった cappellini は2004年、イタリアのインテリアブランド Alias, Cassina と共に、イタリアの高級家具ブランド「Poltrona Frau」の傘下に入ることとなった。

その後2014年、イタリアの大手高級ブランドが「Haworth」が「Poltrona Frau」を買収し、cappellini も事実上「Haworth」の傘下に入ることとなった。

これにより、「Haworth」という1つのイタリアブランドの元に、数々の有名イタリアブランドが傘下に入ることとなった。

Giulio は、最初は戸惑いもあったが、今は経済的にも自由になり、デザインも変わらず自由だと話している。

その言葉通り、cappellini はその後も数々のデザイナー達と、自由でモダンな作品を数多く発表し、業界の注目を集め続けてきた。

そして2016年12月、TEAM IWAKIRI が正規代理店となり、初めて日本にショールームをオープンし、現在、日本を含め9カ国でショールームを展開し、様々なデザイナー達と作品を発表し続けている。

## ◆cappellini 特徴

「ベストセラーよりもロングセラー」

Giulio 本人が語るよう、長く愛される作品に重きを置いており、一言で言えば、「シンプルモダン家具」ではないかと思う。

それは、創業時に掲げられた、

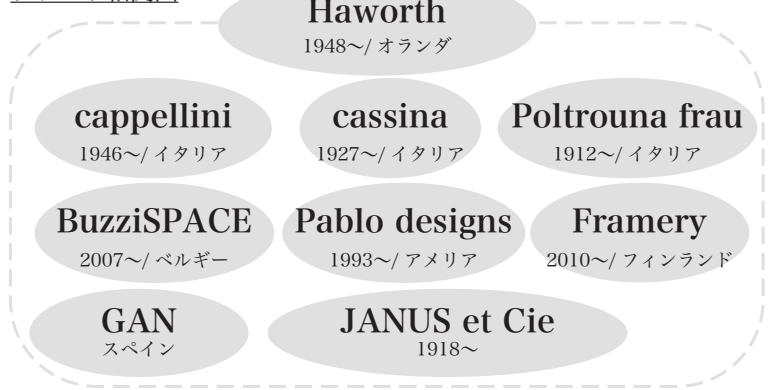
- ・Originality (独創性)
- ・contemporaneity (今をいきる)
- ・simplicity (シンプル)

という3つの価値がデザインの根底にあるからではないだろうか。

シンプルながらも、カラーで遊ぶ作品も多く、ビビットなカラーデザインも得意としている。

デザイナーの個々のアイデアが詰まった個性的なデザインなことはもちろん、機能面にも重きを置き、その時代にあった作品を発表し続けている。

## ブランド相関図



※参考：<https://www.dezeen.com/>